

# かごしま市民福祉プラザでの 「市長とふれあいトーク」発言に対する検討結果等

## 〔開催概要〕

日時：平成19年1月17日（水） 10:00～11:00

場所：かごしま市民福祉プラザ 消防局 会議室

※ 平成18年度のグループ申込型の5回目として開催（環境）

平成19年2月

鹿児島市 市民参画推進課



## 環境関連グループとの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年1月17日（水）10：00～11：00  
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
2	かごしま市民環境会議 男性	<p>① 子供達が自然環境の豊かさを認識し、環境について学ぶことが重要だと考えています。 野鳥の会では、小学校などから野鳥観察の依頼があり、ぜひ協力していきたいと考えています。</p> <p>しかし、平日では大人数の対応が難しいため、クラス単位の少人数の依頼や、休日の時間帯の依頼などを検討してほしい。</p> <p>② 慈眼寺公園には貴重な野鳥がおり、県内外から愛好家が集まってきます。一方で、悪質な人が貴重な野鳥を持ち帰ることもあるため、野鳥の会で、自発的なパトロールを行っています。しかし、グループの活動では限界があるため、慈眼寺公園の不審者への対応など行政の支援もお願いしたい。</p>	<p>① ご提言については、担当部局に伝えて、対応を検討してまいります。</p> <p>② ご提言については、担当部局に伝えて、対応を検討してまいります。</p>	<p>教育委員会</p> <p>環境局</p> <p>建設局</p>	<p>① 子供が、自然の中で生き生きと活動し、自然の豊かさや自然環境について学び、様々な生き物の命を大切にする生命尊重の心を育てていくことは、とても大切なことだと考えております。</p> <p>学校では、宿泊学習等の野外観察において、学年単位や学校単位でバードウォッチングなどの活動を行っております。</p> <p>今後、学級単位の時間帯のスライドや、講座選択制による少人数の実施などの方法を検討してまいります。</p> <p>また、休日の遠足や野外活動を行う場合には、野鳥の会の協力がいただけることを、PTAや少年団活動、あいご会などに紹介してまいります。</p> <p>② 野生鳥獣を無許可で捕獲、飼養することは、法律で禁止されております。</p> <p>一般の方が許可を得て捕獲できるのは、愛がん飼養目的のメジロとホオジロに限られており、このことは、市民のひろばやホームページで広報しているところです。</p> <p>現在、県の鳥獣保護員（7人）が年13回、市内の鳥獣保護区等の巡回、密猟の監視等を行っております。</p> <p>今後とも、県と連携を図りながら、不法な捕獲が行われないように努めてまいります。</p> <p>また、公園内の不審者については、職員による定期的な巡視を行い、不審者を発見した場合には、指導や関係機関への通報など適切に対応してまいります。</p>





## 環境関連グループとの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年1月17日（水）10：00～11：00  
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
6	地球環境 フォーラム 鹿児島  女性	平成19年1月から、ごみ・資源の分別方法が変わりました。 埋め立て処分場の延命化の取組みは理解できるが、ごみの全体量の増加や分別意識の後退が懸念されます。 ごみ処理の有料化を検討してはどうかと思えます。	合併する以前の旧町のなかには、ごみ処理の有料化を実施しておりましたが、合併により旧鹿児島市の制度に統合した経緯があります。  分別方法の徹底とともに、ごみを出さないことが一番重要であると考えております。 現時点では有料化は考えておりませんが、有料化を実施している他都市の状況や住民意識などを調査し、効果や問題点などを検討してまいります。	環境局	有料化の効果としては、排出抑制につながることから、ごみの減量化・資源化の推進に資すると考えられます。 一方、問題点としては、社会的弱者や不適正排出への対応、いわゆるごみ量のリバウンド現象、有料化の手法、法的な裏付け、住民税との整合性などがあげられます。 現在、他都市で有料化を実施する先行都市が出てきており、その動向や状況を注視しながら、引き続き調査、研究していきたいと考えております。  今後は、分別収集のさらなる定着を図るとともに、「3R」とくに「発生抑制」について、市民や事業者に働きかけることにより、ごみの減量化・資源化を図ってまいります。
7	かごしま市民環境会議  女性	グループの活動で、自然観察の取組みを行っています。 鹿児島市には、桜島やメヒルギ、錦江湾など、豊富な自然や人材の魅力があるのに、あまり知らない人が多いのが残念に思います。 また、市民も行政も、環境のために何かしたいという気持ちはあるが、行き詰っている状態にあるように感じます。  環境未来館ができますが、そのなかで市民がどれだけ活発に活動し、行政や学識経験者と連携しながら、市民グループ同士が横の連携をもつことが重要だと考えています。 そのためにも、環境に取り組むグループに資金を助成し、市の広報媒体を活用させてほしい。	環境に対する思いは、行政も市民グループの皆様と一緒に考えております。 今後、さらに、市民と企業、行政が連携し、情報の共有化を図り、一緒に同じ底辺に立って取り組んでまいります。  ご提言については、担当部局に伝え、検討させていただきます。	環境局	鹿児島市では、合併により、さらに豊かになった自然環境を広く市民に紹介しております。 自然とふれあうことで、市民の環境意識の高揚を図るよう「自然ふれあい推進事業」に取り組んでおります。  また、環境をより良くし、将来の世代にこの環境を引き継いでいくために、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら、環境にやさしい持続可能な社会を構築することを目的に、三者で構成する「環境パートナーシップかごしま（仮称）」の設立に向けて準備を進めております。 今後、このなかで、さまざまな取組みを協議してまいりたいと考えております。  また、環境未来館（仮称）については、観るだけの施設ではなく、参加体験の場を提供し、活動する人の支援を行い、より多くの人々が何度も来館してもらえるような仕組みを作っていきたいと考えております。 市民や市民グループはもとより、他の環境関連施設や学校、大学等と連携を図り、環境に関する関心や理解を深め、環境保全活動を推進する拠点にしたいと考えております。

## 環境関連グループとの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年1月17日（水）10：00～11：00  
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
8	かごしま市民環境会議 女性	<p>グループでは、鹿児島県の環境に対する強い思いをもった人が集まり、分科会などの活動を通じ、環境の啓発活動を行うほか、実践する方々をネットワークしています。</p> <p>温暖化問題では、循環型社会の構築に向けて、行政よりも先に太陽発電や省エネの普及に取り組んできました。行政には予算などの制約があり、市民グループの動きが先行してしましますが、行政と方向性は一緒です。行政も一緒に動き、また市民グループの活動を知ってほしい。</p> <p>そのためにも、パートナーシップが大事であり、双方が納得のいく形で進めていきたいと考えています。市民に諮問するのではなく、一緒にゼロから始めることが、信頼関係をつくるうえで重要だと思っておりますので、もっと市民を有効に使ってほしい。</p>	<p>環境に対する思いは、行政も一緒であると考えております。今後、さらに、市民と企業、行政が連携し、情報の共有化を図り、一緒に同じ底辺に立って取り組んでまいります。</p> <p>また、鹿児島市のなかでも、担当部局だけでなく、全部局で取り組んでいきたいと考えております。</p>	環境局	<p>今日の環境問題は、地球温暖化やオゾン層の破壊など地球規模にまで拡がり、私たち人類の生存基盤に深く関わる重大な問題となっております。この解決には、個別の取組みだけでは、できることが限られており、市民、事業者、行政が相互に協力、連携して取り組む必要があります。このことから、鹿児島市では、市民、事業者、行政がそれぞれの役割を果たしながら、環境にやさしい持続可能な社会を構築することを目的に、三者で構成する「環境パートナーシップかごしま（仮称）」の設立に向けて準備を進めております。また、各部局においても、パートナーシップのもとに、環境に配慮した事業の推進に取り組んでまいりたいと考えております。</p>
9	地球環境フォーラム 鹿児島 男性	<p>現在、鹿児島市では、事業所の屋上緑化や壁面緑化の取組みを進めており、温暖化軽減に対する市民や事業所の意識が高まってきているのを感じます。</p> <p>さらに全市民に普及するよう、補助の対象を市街化調整区域に限定せず、全市域に広げてほしい。また、緑化だけでなく、脱温暖化に効果がある断熱ガラスなども、補助の対象にしてはどうかと思います。</p>	<p>現在、屋上や壁面の緑化を推進し、温暖化を軽減するよう取り組んでおります。できる限り、市民や事業所の温暖化軽減の取組みを支援する体制を整備していきたいと考えております。</p>	建設局	<p>屋上や壁面の緑化を進めることは、ヒートアイランド現象の抑制に効果があることから、市街地において民間の住宅や事業所でも、これが促進されるよう助成制度を設けております。市街化調整区域は、緑が多く、現在のところ補助の対象として広げる予定はありません。</p>

## 環境関連グループとの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年1月17日（水）10：00～11：00  
場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
10	地球環境 フォーラム 鹿児島  女性	<p>① ホテルなどの建築物に含まれる有害化学物質の問題に取り組んできました。</p> <p>建築物や食物には、有害化学物質が氾濫している現状があります。</p> <p>この理解が進むよう、学校や企業への講師派遣などのシステムが必要だと考えています。</p> <p>② 環境に対する意識は、小さなきっかけで変わるものです。</p> <p>とくに、団塊の世代が注目されている現在では、そのきっかけをつくるチャンスでもあると考えています。</p> <p>環境への取組みのアイデアを公募し、市役所の全職員が実行するなどの企画をしてはどうかと思います。</p> <p>例えば、「マイ箸」「マイバッグ」のアイデアを採用し、全職員が実行すればメディアなどで話題になり、意識が変わるきっかけになると思います。</p>	<p>① 今後、さらに、市民と企業、行政が連携し、情報の共有化を図り、一緒に同じ底辺に立って取り組んでまいります。</p> <p>ご提言については、担当部局に伝え、検討させていただきます。</p> <p>② ご提言については、担当部局に伝え、検討させていただきます。</p>	<p>建設局</p> <p>健康福祉局</p> <p>環境局</p>	<p>① 建築物における有害物質（シックハウス、アスベスト）の使用等については、建築基準法に一定の規準が定められております。</p> <p>今後とも、建築確認審査時に、その適合性について審査を行ってまいります。</p> <p>また、食品中に残留する農薬や使用されている添加物等について、食品衛生法に定められた基準に適合しているか、随時、検査を行うなど、食品の安全確保を図っております。</p> <p>今後とも、食品衛生の普及、向上のため、事業者や消費者に対し、出前トークや衛生講習など実施してまいります。</p> <p>② 鹿児島市では、市役所の事務事業における環境負荷の低減を図るため、「環境配慮率先行動計画」を策定し、現在、全庁的に取り組んでおります。</p> <p>環境政策課を事務局とした庁内の環境政策推進会議の中で、行動内容の見直しなどを行っておりますが、ご提言のアイデア公募については、今後検討してまいりたいと考えております。</p>



## 環境関連グループとの「市長とふれあいトーク」発言に対する処理方針

日時：平成19年1月17日（水）10：00～11：00

場所：かごしま市民福祉プラザ

番号	発言者	発言内容	市長回答	関係部局	検討結果、今後の方針等
11	地球環境 フォーラム 鹿児島  男性	<p>鹿児島市のCO<sub>2</sub>排出削減について、市電の乗客は増加傾向にあります。</p> <p>市電の延伸など公共交通機関の整備について、どう考えていますか。</p>	<p>市電の経営は難しい局面もありましたが、近年は、環境にやさしい公共交通機関として国の支援もあり、さらに活用されるよう取り組んでおります。</p> <p>現在、鹿児島市域全体の公共交通機関のあり方について検討しておりますが、市電の延伸は相当な公共投資であり難しいと考えております。</p> <p>また、バス路線については、民間バス会社も含めたバス協議会で検討しております。</p> <p>できる限り、天然ガス車やハイブリッド車を導入するなど、CO<sub>2</sub>排出削減に取り組んでいきたいと考えております。</p>	<p>環境局</p> <p>企画部</p> <p>交通局</p>	<p>地球温暖化の原因とされているCO<sub>2</sub>など温室効果ガスの削減のため、鹿児島市の「環境基本計画」や、現在、策定中である「地球温暖化対策地域推進計画」の取組みの一つとして、公共交通機関の利用や低公害車の導入などを掲げております。</p> <p>市民、事業者、行政が、地球温暖化防止という共通の目的のもとに、一体となった取組みを推進していく必要があると考えております。</p> <p>路面電車については、平成14年度に延伸の優先度の最も高い地区として、谷山中央地区という調査結果が出て以来、各面からの調査検討を行ってまいりました。</p> <p>その結果、谷山地区の鉄道高架化後、新たにできる市電踏切の交通処理の問題、市財政へ与える影響、費用対効果など各面からの検討結果を踏まえ、総合的に判断し、谷山地区の路面電車の延伸は断念せざるを得ないという結論を、平成18年4月に出したところです。</p> <p>そのため、現時点では、路面電車の延伸の検討は、白紙の状態となっております。</p> <p>公共交通機関の整備については、岩崎グループのバス路線廃止への対応として、廃止された路線のうち、必要な路線について、平成18年11月から平成19年9月までコミュニティバスなどの代替バスを運行することとし、平成19年10月以降の運行については、利用実態に応じた運行見直しを検討することとしております。</p> <p>また、市内の公共交通不便地対策としては、平成18年度の実態調査検討結果に基づき、優先的に取り組む必要がある区域について、平成19年度に有効な対応策の基本計画や事業計画を策定し、平成20年度の事業導入に向けた準備を進めることとしております。</p> <p>なお、交通局では、「低公害車導入計画」の中で、購入するバス車両の70%以上を、天然ガス車やハイブリッド車などの低公害バスとしております。</p> <p>今後、この計画をもとに、車両の更新を行っていく予定です。</p>